

御用金 (1969)

メディア 映画

ジャンル 時代劇 サスペンス アクション

製作国 日本

色彩 Color

時間 123分

初公開日 1969/05/01

公開情報 東宝

【解説】

五社英雄が田坂啓とともに書いたオリジナル脚本を監督し映画化。フジテレビ初の劇場映画であり、公開と同時に「週刊少年キング」誌上に劇画版が連載された。

鯖江藩領内の漁村で、すべての村民が忽然と姿を消した。人々はこの事件を“神隠し”と呼び恐れおののいた。三年後、江戸にいた脇坂孫兵衛は鯖江藩士に襲われる。財政難にあえいでいた鯖江藩が、難破した船から御用金を横領し、口封じのため村民たちを皆殺しにした。それが三年前の“神隠し”の真相だった。そして孫兵衛はその真相を知っていたために、藩士に襲われたのだった。鯖江藩の家老である六郷帯刀が二度目の“神隠し”をもくろんでいることを知り、孫兵衛は計画を阻止すべく立ち上がった。

【クレジット】

監督 五社英雄

製作 藤本真澄

福田英雄

椎野英之

佐藤正之

脚本 五社英雄

田坂啓

撮影 岡崎宏三

美術 小島基司

編集 諏訪三千男

音楽 佐藤勝

ナレーター 小沢栄太郎

出演 仲代達矢 Tatsuya Nakadai 脇坂孫兵衛

中村錦之助 藤巻左門

丹波哲郎 Tetsuro Tamba 六郷帯刀

司葉子 しの

浅丘ルリ子 おりは

東野英治郎

田中邦衛

夏八木勲

樋浦勉

西村晃